

平成 23 年 4 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

山口県の主要指標 DI 値（平成 23 年 4 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 （＜好転＞－＜悪化＞＝＜DI 値＞）

前年同月比は、**好転：0.0%** **悪化：61.3%** **DI 値：▲61.3%** ポイント

売上高 （＜増加＞－＜減少＞＝＜DI 値＞）

前年同月比は、**増加：12.5%** **減少：52.5%** **DI 値：▲40.0%** ポイント

収益状況 （＜好転＞－＜悪化＞＝＜DI 値＞）

前年同月比は、**好転：3.8%** **悪化：52.5%** **DI 値：▲48.7%** ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 23 年 4 月末現在）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
| 30 以上 | 10～30 未満 | 10 未満～▲10 | ▲10 超～ ▲30 未満 | ▲30 以上 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 食料品 | 繊維工業 | 木材・木製品 | 印刷 | 窯業・土石製品 | 一般機器 | 輸送機器 | 全製造業 |
| ▲50.0 | ▲50.0 | ▲33.3 | ▲100.0 | ▲50.0 | ▲40.0 | ▲100.0 | ▲51.5 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 卸売業 | 小売業 | 商店街 | サービス業 | 建設業 | 運輸業 | 全非製造業 |
| ▲80.0 | ▲66.7 | ▲100.0 | ▲61.5 | ▲44.4 | ▲85.7 | ▲68.1 |
|  |  |  |  |  |  |  |

| |
|---|
| 全体 |
| ▲61.3 |
|  |

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

| | | |
|--------|--|-----------------|
| 食 料 品 | <p>歓送迎会シーズンの3月は、東日本大震災による自粛から宴席を中止して菓子折りの採用があったため好調であったが、4月に入ってから低調である。</p> | 菓子製造業 |
| | <p>平成22年度通期（4月～3月）では、+0.7%と、対前年を辛うじてクリアすることができた。景況厳しい中、そこそこ健闘したと考えている。4月は4/22時点でほぼ前年トレンド。4/10開催の第10回「萩・春の魚まつり」は昨年比+13.5%で大入り集客。</p> | 水産食料品製造業 萩市 |
| | <p>東北大地震の自粛が今後の消費にどの様に影響していくかが不安。また、計画停電に影響を受ける一部資材関係の供給も不透明でこちらも不安要素。</p> | 水産食料品製造業 下関市 |
| | <p>震災の影響と思われるが、観光地・高速道路でのお土産の売上げが悪い。包装材、調味料等の資材不足が少し出てきている。</p> | |
| 繊維工業 | <p>全体的な業況に変化はなく、経営的には苦戦が続いている。東日本大震災以降、資材納入の遅れが目立ち、依然として高価格・高付加価値商品の売上は苦戦している。外国人実習生の帰国希望が多発しており、原発事故の関係で送り出し国の認識にも混乱がみえ対応に苦慮しており、一部帰国もさせざるを得ない状況。</p> | 下着類製造業 |
| | <p>消費が回復していない。東日本大震災による生産移転も少量で止まった。</p> | 外衣・シャツ製造業 |
| | <p>やはり消費の伸びが悪く連休明けより取り掛かる予定の仕事がかなり減少している。加工賃も上がらず先行きが不安。</p> | |
| 木材・木製品 | <p>東日本大震災の影響で、断熱材・合板の品不足により、住宅着工率も上がらず、震災復興による需要増の兆しもない。</p> | 製材業・木製品製造業 |
| | <p>木材業自体にはあまり変化がない。組合員の会社では、建材の品不足・高値等で未だ状況が改善されたとはいえない。</p> | |
| 印 刷 | <p>東日本大震災で製紙メーカーが被災し、印刷用紙の供給に支障が出ており、指定されている紙の調達が困難となっている。</p> | 印 刷 |

| | | |
|---|--|------------|
| | 震災の影響で伝票類の用紙（複写用紙）が入らない。 | |
| 窯業・土石製品 | 全体で対前年同月比96%の出荷。平成22年度組合員実績は、前年比95%、平成23年度見込みは、前年比87%を見込んでいる。東北地方の復旧復興が、本格化した時点での、セメント・骨材等の資材調達面での問題が生ずる可能性がある。 | 生コンクリート製造業 |
| | 出荷量については、対前年比；骨材：110% 路盤材：105% 再生材：146% 全体では、対前年同月比：113%。しかしながら、官公庁の6月以降の入札予定は全てストップしている状況。上関原発も白紙状態になりつつあり、さらに厳しい状況が続くそうである。建設業者も今年に入って数件倒産しており、砕石の顧客自体も減少しつつある。東日本大震災の影響で、発破用のプラスチック製のパイプや大型トラックのタイヤ等が全く入荷できず、砕石工場がストップする可能性も出てきた。 | 砕石製造業 |
| 一般機器 | 東日本大震災の影響は現段階ではない。しかし、この震災による日本経済に及ぼす影響が懸念され、一日も早い復興を願っている。 | 宇部市 |
| | 東日本大震災の壊滅的打撃と東京電力原子力発電所事故に関わる計画停電等による、顧客の生産減退或いは供給部品の遅延等の影響を直接受け、出荷制限等の対応を余儀なくされている。今後暫らくの間影響が及ぶものと考えている。 | 柳井市 |
| | 工場稼働は昨年と変わらないが、レベルは低い。 | 周南市 |
| | 業況特段変化なし。震災の影響は不確定。 | 防府市 |
| | 東日本大震災の間接的影響は今のところない。三菱重工業は発電機関連が大から小まで、長崎・高砂・相模原は受注に対応して生産能力増産と公表したが、まだ余波はない。注文のキャンセル等は、まだ聞いていない。 | |
| 4月度の受注も低迷。商談及び見積依頼の動きは出ているが、受注価格は全般的に下落している。低価格でも利益の出せる体制作りをしていないと、仕事がなくなってしまう。東日本大震災の影響と思われるが、北九州方面から、新たな顧客からの商談・受注が出て | 特殊産業用機械製造業 | |

| | | |
|---|--|-------------|
| | きている。 | |
| 輸送機器 | 車両輸送機部門は踊場域に入ってきた。当分上昇の気配が見られない状況が続く模様。精密加工部門は、年末までは、現状の好調を維持できる見通し。 | 鉄道車両・同部品製造業 |
| 卸 売 業 | 東日本大震災の影響で、建設資材、部品等が不足、又は入荷遅延が発生。工事等が遅れて売上が減少傾向にある。 | 柳井市 |
| | 東日本大震災後、石油製品、食品、建設資材（外壁、サイディング、ガラス製品、配管材料、電線等）の一部等に品不足が生じているとともに、価格が上昇している。特にガソリン等の石油製品の値上げ傾向は続いている。 | 周南市 |
| | 東日本大震災の影響も少しずつ落ち着いてきているようだが、依然として活気が出てきた様には見えない状況。 | 防府市 |
| | 東日本大震災の影響により商品の品薄が続き、売上に影響あり。 | 山口市 |
| | 決算状況は、各業種とも、前年に対し若干悪くなっている。 | 下関市 |
| 小 売 業 | 春から夏にむけての紫外線対策化粧品の動きが少し良くなってきた。資生堂は、今後インターネット販売を始めるとの報告があった。ネットの客を店に結び付けることが出来るかどうかは今後、問題となる。 | 化粧品小売業 |
| | 当業界は季節商品が多く、東日本大震災の影響で主力商品（トラクター・搭載エンジン等）の入荷が遅れがちのため、売上に大きく影響している。 | 農業用機械器具小売業 |
| | 大型連休にむけ久々にイベントを計画中。東日本大震災の自粛で遠出敬遠ムードの中であっても効果があるかどうか、成果を期待する。 | 周南市 |
| | 東日本大震災の影響は、3月中旬以降ほどではないが、4月も消費者心理に大きく影を落としており、当面続くものと思われる。 | 山口市 |
| | 東日本大震災の影響により、外出控え・買い控えの傾向が大きい。高額品・衣料品の売上が減少したが、生活用品は前年並みからアップ傾向となった。 | 下関市 |
| 東日本大震災以降自粛ムードが顕著にみられ、特に衣料品店から高齢者のお客様が買い控えされているとの報告がある。旅行代理店からはキャンセルなどで大きく売上が減った | 長門市 | |

| | | |
|-------|---|---------|
| | との報告もあり、全体の売上も昨年をかなり下回っている。 | |
| 商店街 | 東日本大震災の自粛ムードで消費がなかなか元に戻らない。年々高齢者の消費力が落ちてきている。 | 萩市 |
| | 1店閉鎖したが、4月末に組合別法人で1店開設。一進一退は続く。東北産品の店は、風評での買い控えを上回る東北支援のムードがあり、再来店者の購買率が高くなった。 | 山口市 |
| | 東日本大震災の影響か、お客様の購買意欲が少なく、各店の売り上げ減少が目立つ。 | 宇部市 |
| サービス業 | 最近の気候不順により、月始めはお客様の来店もややあったが、後半は客足も伸びず各美容店は困っている。 | 美容業 |
| | 組織力の低下が進み、対策に苦慮している。 | 理容業 |
| | 東日本大震災の影響により、新車販売が大幅に落ち込んだ。(対前年比登録車マイナス35.2%、軽マイナス28.8%)メーカー各社の減産は長期化する見通しであることから今後の影響が心配される。また、修理部品についても、一部不足が報じられており、今後全体的な供給不足となれば整備業界にとっても大きな影響が出る。 | 自動車整備業 |
| | 東日本大震災の影響は、電子機器商品が中々入ってこないが、その他の商品に関しては徐々に回復しつつある。売上は、やはり新車販売が低調なので関連する商品売上が上向かない。 本業の修理も、搬送用トラックの稼働率が低調なのでかなり厳しい。 | |
| | 東日本大震災の影響は、今のところそれ程出ていないが、おそらく今後発生すると思われる。派遣は、かなり縮小されそうだというわさが出ている。せつかく上向くかと思われるところであるが、厳しい状況が続くと思われる。業務システム構築においては、経営コンサルから入り込まなければ、システム構築だけでは、仕事がとれない状況にある。 | 情報サービス業 |
| | 代替需要の受注や新規大型受注等が決定し、動きが出てきたが、今から開発を行い、納品となると、代金回収が秋頃になるため、繋ぎの融資等が必要となりそうである。 | |

| | | |
|-----|--|--------------|
| | 東日本大震災後の悪影響等に関しては、特に問題化はしていない。震災に関わらず、業況は足踏み状態で組合員の減少につながりそうな様子。関係団体等の負担金が、年ごとに重く感じられている状況。 | 屋外広告業 |
| | 前半は自粛の影響で最悪であった。20～30%の入店者、売上げの落ち込みがあった。特に、キャンセルが響いた。月末の連休にかけてやや客足が戻ったとの情報もあるが、個人経営等零細規模店においては、元々不況だから不況に変わらないという意見もある。対前年比はお話にならない。 | 飲食業 |
| | 組合員によって、前年同月比69%～105%までと差が大きい。平均でも前年対比で84%と大きく減ってきた。 | 旅館業 萩市 |
| | 東日本大震災の影響によるキャンセル等の、極端な動きは無い。 | 旅館業 周南市 |
| | 東日本大震災（自粛ムード）によるキャンセルが続発。特に3月～9月の間の外国人観光客は、原発の影響で、1,800人のキャンセルが出ている。 | 旅館業 山口市 |
| | 東日本震災の影響が大きく、業況の改善が出来ない。仕入等の不安は無くなったが、旅行者の動きが鈍く、連休に向けた直前の予約もなかなか入らない状況。 | 旅館業 下関市 |
| 建設業 | 3月と同様、各社の仕事量にばらつきが出ており、仕事のあるところとないところがはっきりしている様子。 | 鉄骨工事業 |
| | 中電への工事申請3月312件（当支部分257件）前年同月196件（同145件）。3月の太陽光発電への申請72件と4月よりの買取条件低下に伴う駆け込み申請があった。（4月1日～20日の間はわずか1件。）オール電化申請49件と通常月より5割程度増加した。公衆街路灯約50件あった。 | 電気工事業 |
| | 東部地区の一部では公共工事が出つつあるが、他県のゼネコンの受注が多いので地域にプラスになっているか疑問。東日本大震災の影響は、材料などの入荷が予定日より遅れることが鮮明になってきた。 | 左官工事業 |
| | 平成22年度の県公共工事の受注は、対前年度比52%と大幅に減少している。上関原発の埋立工事は、全面的に停止となり、工事からの撤収作業となっている。 | 土木工事業 柳井市 |

| | | |
|-------|---|------------------------|
| | <p>工事が少ない為、低価格落札となり、仕事をしていても収益につながらない状況。新年度に入り、今までのケースでいくと2～3ヶ月は公共工事の発注が期待できない。</p> | <p>土木工事業 周南市</p> |
| | <p>建設業は例年4月は端境期で仕事の無い時期。ただ、東日本大震災の影響もあり、今後例年同等の仕事があるか不透明。先を見て、事業を縮小する業者も少なくない。</p> | <p>土木工事業 岩国市</p> |
| | <p>23年4月の受注高は、対前年同月比136%。今年度の累計は、対前年比486%。</p> | <p>土木工事業 萩市</p> |
| | <p>東日本大震災の影響で材料の一部に入手困難なものがある。長期化すると、地域の景気が懸念される。</p> | <p>管工事</p> |
| 運 輸 業 | <p>運輸関係：前年対比プラスマイナス0に等しい。巨大地震発生から1ヶ月以上が過ぎたが、東北方面への物流は皆無に近い状態である。その反面、東北以西への輸送量は追従し増加してきたが、やはり全国的な生産と輸送網が相対しなければ向上は見られないし、被災者の生活も安定しないと思う。</p> <p>油関係：共同購入の強みで価格上昇をおさえてきたが8.9円/ℓの値上げ。これで益々輸送業者の経営は圧迫感が強くなってきた。</p> | <p>一般貨物運送業 下松市</p> |
| | <p>運送業界は油の値上がり経営を揺るがしている。3月末最終の軽油価格：1ℓあたり、インタンク（タンクローリー配送で運輸会社の備蓄分）価格105.9円。スタンド給油価格108.9～112円。4月18日より下関市内SS128円とするとの店頭表示があり、値下げの交渉で大忙しだったが、メーカーには敵わない。東日本大震災のあおりで経済も混沌としている状況。</p> | <p>一般貨物運送業 下関市</p> |
| | <p>東日本大震災の影響による部品調達の困難から、3月半ばに完全にストップした自動車製造企業の生産活動ではあったが、4月上旬より徐々にではあるが稼働し始めた。しかしながら、調達困難は依然として続いており、輸送稼働は依然として低水準に推移している。今後の見通しも立っておらず、さらに、高値基調の燃料費が企業経営に多大な圧迫を加えている。</p> | <p>一般貨物運送業 防府市</p> |

| | |
|---|------------------------|
| <p>売上高はまだ前年同月比で増加しているのだが、それ以上に軽油の価格上昇が大きくこの6ヶ月間で20%増となっている。運賃が厳しい中であってこれは致命傷に近い。東日本大震災の影響がこの業界にも表れてきており、荷物の流れが偏重している。東からのトラックの流れ・貨物の流れが減少している。</p> | <p>一般貨物運送業 宇部市</p> |
| <p>給油量から見る操業度の状況は、対前年同月比で95.6%と約4ポイントのアップとなった。この要因は萩・三隅道路関係の会社合計の給油量が対前年同月比で96.6%と約3ポイントダウンした為と、組合員1社の廃業に伴う脱退の為。一方の油価格は先月より4.5円アップし、対前年同月比でも18.5円アップの110.0円の状況。</p> <p>東日本大震災により、「ガソリン税軽減の為のトリガー制度が凍結される」と聞く。また、「円安に向かう」とも言われている。どちらも価格上昇の要因となり、今後の価格が心配される。</p> | <p>一般貨物運送業 萩市</p> |
| <p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲7.1%（3月1日～4月20日分）。4月1日～20日分については▲8.5%の減少。昨年11月から、前年度の減少分を取り戻す程度以上の増加傾向で、東日本大震災までは順調に増加していたが、震災直後から急激に取扱いが減少し、一向に回復の兆候が見出せない。観光、宴会等の過度な自粛は不要と発表され、競艇や競輪も4月から再開されたが、なかなか収束しない原発問題や、頻繁に発生する余震情報などの中で、本格的な復興には少々期間がかかるように思う。</p> <p>燃料のLPGについては、当面供給不安はないが、単価についてはCP（通告価格）に連動して再び上昇傾向にある。歩合給比率の大きいタクシー乗務員も含め、収入の減少、消費の減少・・・という負の連鎖が大いに懸念される。復興に向けた本格的な動きが待ち望まれる。</p> | <p>一般旅客自動車運送業</p> |